

上野 達也・和枝 夫妻（富山県氷見市）



上野夫妻

ふらり

・平成16年、「café風楽里」を開店し、ブルーベリーを中心とした飲み物やスイーツの提供、生果実や加工品の製造販売に取り組む。消費者と生産者との交流促進の取組実績が評価され、平成24年に富山県農業振興賞を、平成28年から5年連続で氷見市チャンピオンショップコンテストを受賞し殿堂入りを果たす等、地域農業の発展に貢献。

・平成20年、家族経営協定を締結し、氷見市第1号の夫婦共同申請による認定農業者となった。達也氏は農園全般と経理、和枝氏はカフェ経営と加工事業と役割分担を明確にする。夫妻は、前職の旅行会社勤務経験を活かして事業を展開し、経営発展している。



・平成10年、観光的な農業をやりたい思いから、自営農業するため、達也氏は生まれ故郷の氷見市触坂へUターン、和枝氏は福島県郡山市出身からのUターンで新規就農。摘み取り園として展開できるブルーベリーに着目し、富山県で初めて本格的な生産に取り組む。

・石川県能登町で研修を受け、平成13年4月に氷見市触坂の休耕田を活用した農園「いなかふれさか」を設立。現在は面積90a、約1,000本、37品種を栽培。



ブルーベリー

・ブルーベリーの生産、観光農園、加工、カフェと経営が発展したUJターン農業の模範となり、多くの新規就農者や女性起業者が視察や相談に訪れる。カフェを起点とした移住希望者と地元の人との集いの場を提供し地域活性化に貢献。

・令和4年に休耕田でカボチャを作る「触坂パンプキン愛」を結成し、触坂地区の耕作放棄地対策を実施。

・「れんげの会」（高岡広域の若い女性農業者で構成する組織）の会長を務める他、令和5年4月設立した氷見市農業みらい塾（市内認定農業者等で構成される団体）の副塾長に就任、同年7月からは氷見市の女性農業委員に就任。

「Café 風楽里」の外観（上）

カフェで提供しているブルーベリーメニュー（左）
ブルーベリー加工品（右）